

# 端子台一体電流センサ

量産品  
2028年量産可能

- ・端子台一体化によりスペースの効率化に貢献
- ・仕様(電流検出範囲、形状etc.)に合せたカスタマイズが可能

## 背景・課題

電動化に向けて駆動ユニット(e-Axle等)の小型・軽量化が必要

## 課題への解決・特徴

用途：BEV / HEV / PHEVのインバータにて変換される交流電流を測定する

### 特徴・効果

1:電流センサと端子台を一体化し  
防油機能を備える

2:カスタマイズが可能  
(測定範囲、形状、etc)



駆動ユニットの小型・軽量化  
および部品点数の削減

### 仕様・機能

電源電圧 :  $5.0V \pm 0.5V$

使用温度 :  $-40 \sim 125^{\circ}C$

電流検出範囲 :  $\pm 1000A$

出力精度 :  $\pm 7.5A$ 以下(オフセット)  
 $\pm 2.5\%$ 以下(ゲイン)

出力方式 : アナログ(レシオメトリック出力)

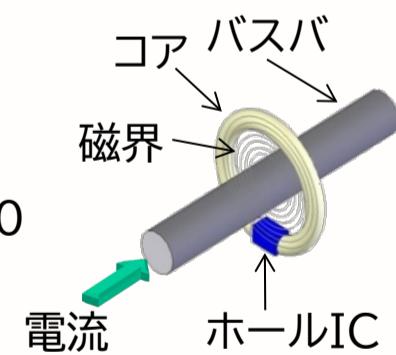
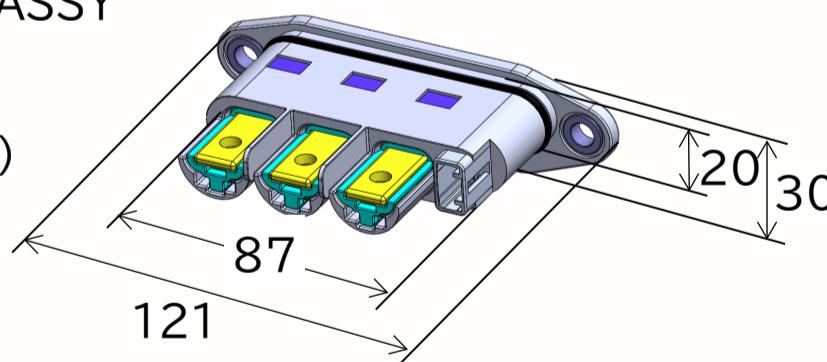
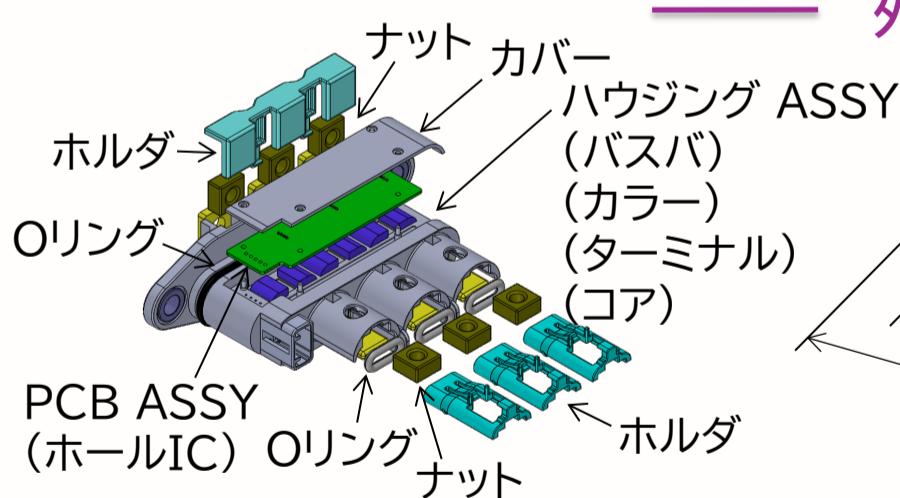
応答速度 :  $6 \mu s$ 以下

検出方式 : ホールICによる磁束密度検出

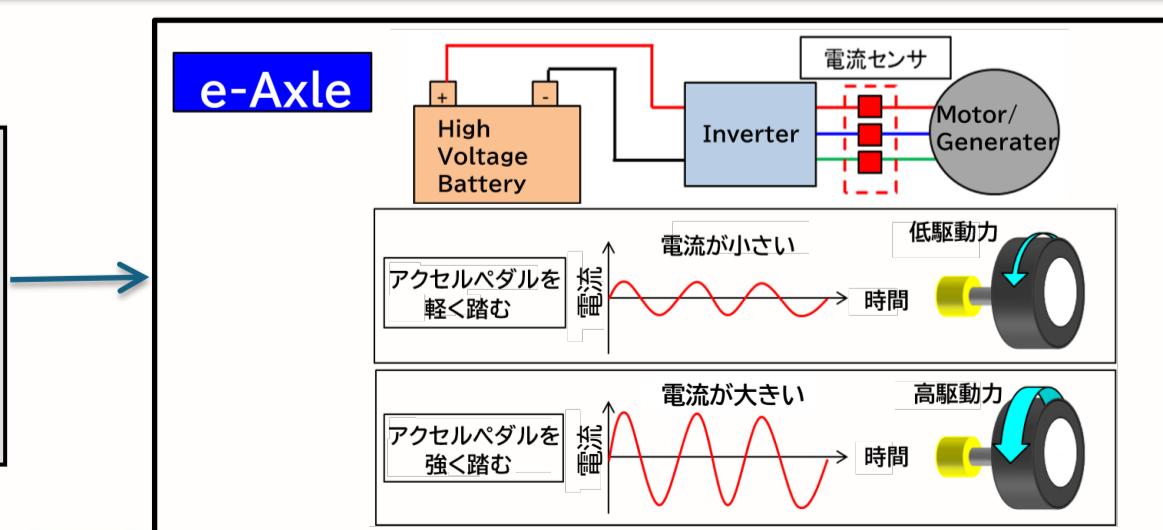
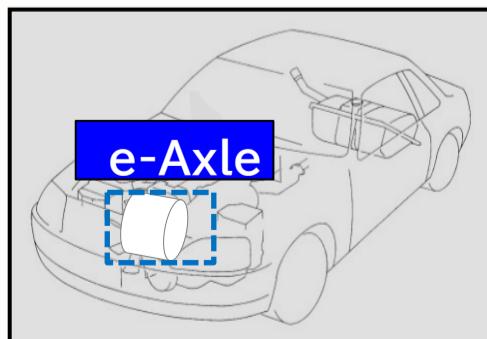
消費電流 :  $42mA$ 以下

(詳細仕様は要求仕様を元に個別に検討させて  
いただきます)

### 外観・構造



### システム



YAZAKI